

セルフメディケーションとは何か? ~基本的概念と社会状況変化への適応~

セルフメディケーション推進協議会 会長

薬学博士 村田 正弘 氏

セルフメディケーションは「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること」と定義されていますが、実行するには、市販の医薬品を用いて自分で身体の不調を治すだけでなく、自分の生活を見直し運動や栄養バランスなど改善による本来の健康な生活を目指すことが必要です。

10月度 STF セミナーはセルフメディケーションの推進に永年取り組んでこられた村田先生から、セルフメディケーションの基本や、今般の新型コロナウイルス流行等の社会情勢の変化に即した適応のあり方などについてお話いただきます。ご興味のある方は、是非ご参加下さい。なお、本セミナーは会場で先生にご講演をいただきますが、収容人数が削減されているため、WEB(ZOOM)でも配信します。WEB参加は無料です。

1. 日時: 2020年10月24日(土) 14:00~16:40

2. 会場: 品川区立総合区民会館「きゅりあん」5F 第3講習室【定員: 25名】

(JR 大井町駅中央改札を出て左直進、ヤマダ電機住まいる館内を通り抜けた裏側 EV 上がる)

地図: <http://www.shinagawa-culture.or.jp/curian/>

3. 講演概要

セルフメディケーションは、最近注目される言葉である。言葉は聞いていても、意味が正しく理解されていない。実行となるとさらに低い。一般国民への認知度は、ほぼ20%のまま変化していない。何故か? この単純な疑問の解決に当協議会はほぼ20年にわたり、苦戦を続けてきた。「健康に気をつけて、身体の不調は早めに処置しよう」このことに反対する人はまずいない。実践するには基礎知識、環境整備を先行させ、教育、医療、経済、法制度を総合した社会の構造改革が必要である。

本年初めに生じた「新型コロナウイルス感染拡大」は、怠ってきた社会状況の虚をまさに突き、混乱が続いている。超高齢社会において社会保障政策を維持し、経済を活性化するのは理想で願望である。しかし、医療費削減のため OTC 医薬品、健康維持にサプリメント・機能性食品、活性成分を添加した食品、運動に精密な計測器具、果てはストレス解消にエンターテイメント—広告規制に抵触しない範囲の商品販売のツールであって施策とは言えない。知識、考察、選択、実践の過程を無視してセルフメディケーションは成立しない。

感染を含め災害は、人類—国民に試練と克服への協働を促す。日本の教育制度は6-3制初等義務教育と成人教育である。制定当時の平均寿命は60歳、現在80歳を超え、人口減少、超高齢社会へ対応していない。医療・介護法制度、生活習慣—食事・運動の関連、医薬品の基礎知識を軸とした成人教育制度を示すので皆様の意見を伺いたい。

4. 演者略歴

1936年東京都新宿区生まれ。1961年東北大学医学部薬学科卒業。63年同大学院薬学研究科修士課程修了。三共(株)中央研究所、製品計画部を経て、1977年日本医科大学多摩永山病院薬剤科長。東北大学や東京薬大他で臨床薬学関連講師。明治薬科大学特任客員教授を経て、現在 NPO セルフメディケーション推進協議会会長。薬剤師、薬学博士。

【専門分野】

研究分野は免疫化学、臨床薬学では病院薬剤師の業務、特に中毒、防災、地域医療連携に関心をもつ。

【主な学会・協会・各種委員等の活動】

日本薬学会、臨床薬理学会、日本中毒学会 各名誉会員
日本ジェネリック・バイオシミュレーション医薬品学会理事、評価委員会委員長

【主な著書】

ドラッグインフォメーション入門、カルテの読み方と基礎知識、
セルフメディケーションのすすめ

5. 会場参加費（会場でお支払ください）。WEB参加は無料です。

・科学技術者フォーラム（STF）会員、学生	1,000 円
・友好団体会員/メンバー： 異普奇会、NPO エルダースystem会員、経営支援 NPO クラブ、 次世代農業フォーラム、食品技術士センター、生体環境保全交流会、 千葉県加工技術研究会、BCC-NET、表界研 など	1,500 円
・STF セミナー講師経験者	1,500 円
・一般	2,000 円

※ 講演中の写真撮影や録画・録音などは、ご遠慮願います。

6. 参加申込：下記の申込書に必要事項を記入し、セミナー担当の太田宛にメールで申込み下さい。

E-mail : futotetsu@gmail.com

Mobile : 080-5883-3000

【ご注意】

- ① 10 月度セミナーは、通常通り、講師が会場で講演を行い、それを WEB で無料配信いたします。
- ② 講師への質問は、有料の会場参加者を優先としますので、予めご承知おきます
- ③ 会場定員が約 50%に削減されていますので、会場参加申込みは早めをお願いします。
また、施設から参加者名簿作成を要請されているため、申込時の必須事項は全てお書き下さい。
- ④ さらに、WEB 申込者も、当日の予期せぬトラブルに対処するため、必須事項を全てご記入下さい。
WEB 参加申込の皆様には、後日、受講に必要な「ミーティング名」と「パスコード」、「受講資料」をお送りいたします。

10/24（土）STF セミナー（第 215 回）参加申込み

- 参加区分【必須】： 会場参加 WEB 参加 （いずれか残す）
- お名前【必須】： （ふりかな：)
- 所属（会社、事務所、団体）：
- メールアドレス【必須】：
- TEL【必須】：

- 会場参加者区分：

・科学技術者フォーラム（STF）会員、学生	1,000 円
・友好団体会員/メンバー：（団体名称：)	1,500 円
・STF セミナー講師経験者	1,500 円
・一般（紹介者：)	2,000 円
- 領収書（会場参加）の必要有無： 有 無 （いずれか残す）